

# 第 10 回近畿周産期精神保健研究会

## プログラム

### 【1日目 2月 21日(土)】

10:00 ~ 12:50 ワールドカフェ形式体験型多職種カンファレンス(周産期こころのケア WS)  
テーマ：生殖医療とともに歩む家族の周産期ケアを考える  
—いのちのはじまりとともに—

はじまりの挨拶：川野 由子（周産期こころのケア WS 担当）

司会・進行：岩本寿実子（大阪母子医療センター心理士）

岡村 祐美（大阪母子医療センターNICU 看護師）

<ワークショップ構成>

I. ミニレクチャー：

「生殖医療を選択するまでの夫婦のこころの理解」

田中 久美子（生殖心理カウンセラー：HORAC グランフロント大阪クリニック）

「揺らぎながら育つ親子と支援者の輪」

三木 有希（臨床心理士・公認心理師：医療法人清慈会 鈴木病院）

II. グループワーク（事例検討）

1. 想定事例の提示

2. グループディスカッション

3. 全体共有とまとめ

III. 総括コメント

12:50 ~ 13:50 昼休憩

13:50 ~ 14:00 開会挨拶

14:00 ~ 15:00 教育講演 1 「信じる？信じない？生物プラン  
～自然が与えている、いいお産と絆形成のプログラム～」

座長：遠藤 誠之（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

生命育成看護科学講座母性胎児科学

講師：久 靖男（母と子の城 久産婦人科）

15:05 ~ 16:05 教育講演 2 「周産期とこころのケア～心理士として思うこと～」

座長：川野 由子（甲南大学）

講師：橋本 洋子（山王教育研究所）

16:10 ~ 16:30 特別講演「ホスピタリティーアートとの出会い  
～親子の物語が始まる時私たちに何ができるのだろうか～」

座長：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）

話し手：後藤 徹（金沢美術工芸大学 名誉教授）

16:30 ~ 16:40 役員会

17:00 ~ 懇親会

## 【2日目 2月22日(日)】

9:30 ~ 12:00 シンポジウム1 「親子の物語が始まる時、私たちにできること」  
座長：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）  
村田 瑞穂（社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団  
医療福祉センター すぐよか）

1. 胎児を喪った母のグリーフケア  
遠藤 誠之（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻  
生命育成看護科学講座母性胎児科学）
2. 胎児診断から親子の出会いを支える  
永島絵理子（聖心女子大学現代教養学部心理学科）
3. 周産期から始まる虐待予防  
宮本 信也（筑波総合クリニック・筑波大学名誉教授）
4. 多職種で考えよう 母と子と家族の心に響く支援  
隅 清彰（愛染橋病院 総合周産期母子医療センター）
5. 療育の場での親と子の出会いとラスト・ステージに応じた支援  
船戸 正久（大阪発達総合療育センター）

12:00 ~ 13:30 昼休憩  
12:10~♪40分間のミニコンサート 吉川よしひろ氏スタンディングチェロ演奏

13:30 ~ 14:15 会長講演 「周産期精神保健研究会で学んだこと～親子の出会いとNBM～」  
座長：平野 慎也（大阪母子医療センター）  
講師：窪田 昭男（月山チャイルドケアクリニック）

14:15 ~ 16:15 シンポジウム2 「親になるとは」  
座長：宮川祐三子（一般社団法人 大阪府助産師会）  
吉田 佳織（大阪母子医療センター）

1. 第8回大会長として伝えたかったこと  
宮川祐三子（一般社団法人 大阪府助産師会）
2. 親子における血のつながりとは  
渡辺みはる（諏訪マタニティークリニック）
3. 親になるとは～親の立場から～  
小田 ゆみ（患者さんご家族）
4. 親になるとは～早産児の親の立場から～  
羽布津 碧（患者さんご家族）

16:15 ~ 16:30 10年を振り返って  
側島 久典（日本周産期精神保健研究会）  
船戸 正久（大阪発達総合療育センター）  
橋本 洋子（山王教育研究所）

16:30 ~ 16:35 総会

16:35 ~ 16:40 閉会挨拶